



保護者交流会だより 第1号

第1企画 「大阪の恩人」五代友厚を知る!に参加して

大阪市立大学経済学部卒業生で文学博士の八木孝昌先生が三年の歳月をかけて上梓された「新・五代友厚伝」を元に作られた講談の台本を講談師の旭堂南照先生が迫力ある熱弁で講談されておりました。生まれて初めて講談というものを体験しましたが、歴史上の人物の五代友厚公が開国のために尽力したことなどが目に浮かぶ体験をさせていただき、感謝しております。八木先生の執筆にかかる情熱や五代友厚公の名誉を回復する意気込みなど、お話の中から、感じられ、そこも胸を打たれました。緊急事態宣言中に生講演が叶わない中、オンラインに切り替えて開催して下さった関係者の皆様のご尽力にもとても感謝しております。とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。(商学部保護者 浴口 由加利さん)



第2企画 Japanese Sake II「酒蔵のまち神戸で酒造り見学と歴史散歩」に参加して

好天のもと、阪神電車、魚崎駅から住吉川沿いに散策しながら菊正宗酒造へ。散策中に大阪市立大学出身で現在、武庫川女子大学准教授の古野先生から灘五郷の歴史について解説いただきました。イヤホンガイドを使用したので先生のお話が離れていても聞くことができました。菊正宗酒造ではボランティアガイドの方が手作業で酒造りをしていた時代の写真や道具をもとに酒造りに携わっていた方々の様子をご説明いただきました。今では考えられない過酷な労働環境のもと、おいしい酒造りが引き継がれてきたことを知りました。菊正宗酒造から浜福鶴酒造への移動中も古野先生から1995年の震災以前、昔ながらの酒蔵が残っていた当時に見学された時のお話等して頂きました。浜福鶴酒造では御年83歳で17歳から酒造りに携わっておられる名物杜氏の米治さんから昔(手作業)と今(機械)の酒造りの違いを説明していただき、最後に昔、酒造りの時に作業時間の目安とするために歌っていた歌を参加者1名と共に鉢巻、法被姿で披露、見学を大いに盛り上げてくれました。菊正宗酒造、浜福鶴酒造ともに試飲とショッピングも楽しめました。同じ市大生の子供を持つ保護者同士、直に接する機会となり大変楽しかったので、来年以降もこのような会を開催して欲しいです。(法学部保護者 武田 香さん)



第3企画 「あなたも1日市大生!」人気講義体験とキャンパスツアーに参加して

11月の秋が深まる季節に市大キャンパスツアーに参加しました。市大のシンボル、1号館前の芝生の真ん中で心地良い風を感じながら、イヤホンガイドを着け、水内先生の講義が始まり、説明を聞きながら講堂へ移動。戦前のなにもなかった土地から建物が建っていく様の空中写真などの資料を見ながら、市大の歴史を学び、時代の変遷を感じました。後半は、キャンパスの敷地内を歩きながら、校舎周りの植物の説明を受けました。市大には、シダレザクラやヤマザクラなどの桜やメタセコイアの木、ブラジルヤシなど多種多様な樹木が植えられていてまるで植物園のようでした。季節が秋ということもあり、青空に紅葉が色映えて美しかったです。講義とツアーの合間には、資料館の見学ができました。現在放送されている朝の連続テレビ小説で資料提供をされているらしく、学生が被っている制帽と校章が資料室にあるものそっくりだと驚きました。また、当日は、本年度で退任される水内先生のお誕生日ということで参加者みなでお祝いとお礼の気持ちをお伝えしました。ツアー終了後は希望者だけで学術情報総合センターの屋上庭園に昇りました。遠くの山やハルカス、PLの塔など見晴らしが良く、高所恐怖症の私でも安心して大阪の景色を見ることができました。参加者のみなさんとは初対面の方ばかりでしたが、一緒に歩き水内先生のお話に笑ったりしながら楽しい一日を過ごすことができました。子どもが日々通う大学を見学する機会をいただき、ありがとうございました。(工学部保護者 岩井 直美さん)



第4企画 「市大附属植物園散策 一森の植物園へようこそ」に参加して

娘の入学以降、附属植物園に一度行ってみたいと思っていたので嬉しく参加しました。植物と植物園に深い愛情をお持ちの植松先生と園職員の方々にご案内頂きながら見学できたおかげで、各々の木の特徴や歴史等を楽しく知る事ができました。メタセコイアや、葉から醤油煎餅の様な香りを放つ桂、緑の桜について等々、どのお話もとても興味深かったです。当日はお天気にも恵まれ、青空の下で色とりどりに紅葉している樹木の美しさに感動し、広大な敷地の中で様々な植物に囲まれて過ごす時間に癒されました。これを機に、ちがう季節にも訪れてみたいと思いました。落ち葉の葉作りも楽しく良い記念になりました。素敵な一日をありがとうございました。(商学部保護者 佐藤 智美さん)



会長挨拶

大阪公立大学教育後援会 会長 金児 暁嗣



本年4月、大阪市立大学教育後援会と大阪府立大学後援会が統合し、新たに大阪公立大学教育後援会が発足いたしました。当教育後援会は、これまで両後援会が実施してまいりました学生、教員に対する教育・研究活動、課外活動や就職活動等への支援事業を継承、発展させるとともに、保護者会員を中心に、卒業生、教職員のご理解とご協力の下に、大学の発展に寄与するための大学支援組織として活動してまいり所存であります。教育後援会に課せられたもうひとつの大きな役割は、大学と保護者会員との交流と親睦を相互に深め、保護者の皆様に大学の教育や研究をより身近に知っていただき、ひいては大学の発展に寄与していただくお手伝いをする事です。そのため、保護者交流委員会では、交流委員自らが事業の企画、実施を担い、保護者会員の皆様へ交流と親睦の機会を提供するなど積極的な活動を展開していただいております。本号においては、杉本、中百舌鳥の各キャンパスツアーを紹介、募集いたしておりますので是非ご応募いただければ幸いです。教育後援会では、今後とも保護者と大学の架け橋となって、様々な事業を推進してまいります。引き続きコロナ禍の厳しい状況が続いておりますが、保護者の皆様方におかれましてはご自愛なされますことを祈念いたしますとともに、今後ともご支援、ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

『教育後援会のご案内』

保護者交流委員会：委員長 今入 隆子 (保護者)



皆さま、こんにちは。大阪公立大学教育後援会によるこそ！教育後援会は学生の皆さんが充実した学生生活を送られるように、また保護者の皆さまが大学を知ること、そして保護者同士で交流を図ることができるように、統合前から様々な支援を行ってまいりました。大学統合に伴い組織の再編はございましたが、良い点は継承しつつ大阪公立大学教育後援会として皆さまと共に様々な活動に取り組んでまいります。学生の皆さんには、教育・研究、クラブサークル活動全般の支援をはじめ充実した学生生活を過ごすことが出来るように数多くのサポートを行ってまいります。保護者同士の交流企画として、昨年はオンラインを活用しての講演・講談、感染予防対策を徹底しての屋外の活動など、計4企画を無事に開催することが出来、ご参加の皆さまから好評をいただきました。今年度は大阪公立大学を代表する杉本キャンパス、中百舌鳥キャンパスのキャンパスツアーを企画いたしましたので、ご案内させていただきます。また、保護者のための就職説明会を今年度は中百舌鳥キャンパスUホール白鷺での開催を予定しておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。大学統合で新たにスタートする教育後援会を皆さまと一緒に楽しく活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

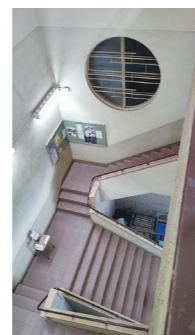
第1企画 建築史家倉方先生とめぐる杉本キャンパスツアー

大阪公立大学となつてはじめての、杉本キャンパスツアー。お子様が学ぶ大学に、足を運んでみませんか。1934（昭和9）年、大阪商科大学の時代に完成した1号館。左右対称に伸びて、中央に時計塔がそびえ、その下の玄関を入ると、やはり左右対称形で上昇する階段が壮観です。現在サポートセンターとして使用されている旧図書館のインテリアや、外観のデザインも一見の価値あります。普段見られない謎の空間も見られるかも。

講師には、多くの書籍や、メディアで有名な建築史家、倉方俊輔先生をお迎えして、建築の観点から杉本キャンパス学舎の魅力を楽しく解説していただきます。午前の部・午後の部は、同内容です。



1号館全景



1号館丸窓



1号館時計内側から

【日 時】 2022年10月8日(土)

A 午前の部 10:30~12:30

B 午後の部 14:00~16:00

【集合場所】 杉本キャンパス本館地区1号館内「講堂」

大阪市住吉区杉本3-3-138

【アクセス】 ・JR阪和線「杉本町駅」徒歩5分

・大阪メトロ御堂筋線「あびこ駅」徒歩15分

【定 員】 各40名

【参加費】 無 料

【スケジュール】 A 午前の部 10:00 受付開始

10:30 講演*

11:00 キャンパスツアー

12:30 解散

B 午後の部 13:30 受付開始

14:00 講演*

14:30 キャンパスツアー

16:00 解散

※テーマ：杉本キャンパス“建築”の見どころ

講 師：倉方俊輔先生

大阪公立大学工学研究科教授

参加申込みについて

・お申込み方法：申込みフォームよりお申込みください。1企画につき保護者お2人まで参加できます。

※応募締切日：2022年8月31日（水）

・お申込み後、自動返信メールが届かない方は、PCからの一斉送信メールが受信できるように設定をお願いいたします。

・次のQRコードからWebにアクセス



・申込みフォームの画面が出たら各項目を入力、「申込み」をクリック、画面が変わったら後に、「OK」をクリック これで申込完了です。

・ご応募時にご記入いただきました個人情報は、申込後の事務連絡、教育後援会企画行事等のご案内に使用し、その他への利用および第三者への提供・開示することはありません。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止又は開催方法の変更や内容を一部変更することがありますので、予めご了承ください。

参加者の決定について

・各企画への希望者が定員を超える場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。参加決定通知は9月上旬頃に連絡いたします。参加決定通知後に、やむを得ず欠席する場合はお早めにお知らせください。

（抽選に外れた方に参加頂くためご協力をお願いいたします。）

・参加決定後、欠席等で定員を割った場合は、別途、教育後援会より抽選漏れ等の方に連絡する場合があります。

お問合せ先

教育後援会 杉本キャンパス事務所 電話 06-6605-3420

中百舌鳥キャンパス事務所 電話 072-254-9205

Mail : kouryu@omu-esa.org ホームページ https://www.omu-esa.org/

第2企画 中百舌鳥キャンパス内にある植物工場と農場見学ツアー

大阪公立大学になり初年度の保護者交流企画で中百舌鳥キャンパスツアーを開催します。“中百舌鳥キャンパス”は世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」に囲まれた緑豊かな立地にあります。キャンパス内には産官学民合同の研究・開発施設も多くあり、今回のキャンパスツアーでは、「植物工場」「農場」の2つの施設を見学します。

大阪公立大学植物工場研究センターは、人工光型植物工場に特化した研究開発拠点です。施設のひとつに量産型植物工場があり、人工光と養液を利用して、一日あたり最大6600株のリーフレタス類が従来の畑栽培の2倍のスピードで量産されています。植物工場の普及拡大を目指し、生産から流通、販売に至る実証研究が行われ、大阪を中心にスーパー等でも広く販売されています。今回のツアーでは、紹介ビデオ視聴と、研究施設をセンター長・北宅善昭先生方の解説とともに巡ります。

一方、農学部の農場は甲子園球場のおよそ1.5倍の敷地（5ha）を有し、キャンパス内に研究農場を持っている大学は国内において珍しく、最大の特徴として学生は日常的に先生の指導を受けることができます。農場には季節に応じた様々な種類の野菜や果物が植えられています。ツアーでは環境を自動制御できるスマートグリーンハウス、水田や柿の実る果樹園を案内いただき、農学部応用生物科学科・横井修司先生による「都市農業」についてのお話をお聞きします。晩秋のひとつきを是非、中百舌鳥キャンパスでお過ごしください。



植物工場

【日 時】 2022年11月12日(土)

A 午前の部 10:00~12:00

B 午後の部 13:30~15:30

【集合場所】 中百舌鳥キャンパス C21棟 植物工場研究センター前

堺市中区学園町1番1号

【アクセス】 ・南海高野線「白鷺駅」から南西へ約1.2km、徒歩15分

・南海高野線「中百舌鳥駅(南出口)」から南東へ約1.7km、徒歩20分

・大阪メトロ御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から南東へ約1.5km、徒歩20分

【定 員】 各40名

【参加費】 無 料

【スケジュール】 A 午前の部 9:30 受付

10:00 植物工場見学とビデオ視聴20名(農場見学と講演20名)

11:00 農場見学と講演20名(植物工場見学とビデオ視聴20名)

12:00 解散

B 午後の部 13:00 受付

13:30 植物工場見学とビデオ視聴20名(農場見学と講演20名)

14:30 農場見学と講演20名(植物工場見学とビデオ視聴20名)

15:30 解散



農場(トマト栽培)



農場(メロン栽培)

新型コロナウイルス感染予防対策について、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ①発熱、咳・咽頭痛などの症状がある方、新型コロナウイルスの感染の疑いがある方は参加をお控えください。
- ②当日の朝、ご自宅で検温を行い、軽度であっても体調がよくない場合は参加をお控えください。
- ③感染予防対策のため、マスクは各自でご持参・着用をお願いいたします。
- ④受付時等、設置してあるアルコール消毒液にて、手・指の消毒をお願いいたします。
- ⑤スタッフのマスク着用について、ご理解をお願いいたします。